

いじめ対策アクションプラン

小山市立豊田南小学校

子どもに声をかける・子どもの声を聞く

子どもへの声かけを行う。

- ・1日の始まりは、元気なあいさつから。
- ・特にいつもと違う反応には、必ず声をかけます。
- ・休み時間も、全職員で子どもを見守ります。
- ・良いところは認め、だめなことはだめと言います。

子どもの声を聞く。

- ・トラブルがおきた時には、お互いの話をよく聞きます。
- ・Q U検査により、心の声を聞きます。
- ・教育相談から、子どもたちの悩みを聞きます。

家庭で

- ・「おはよう」「おやすみなさい」「ってきます」「ただいま」等のあいさつは、しっかりと声を出して行いましょう。(その変化から、分かることもあります。)
- ・一緒にご飯を食べ、学校の様子について話題にしてください。
- ・朝は、元気に送り出してください(明るい1日の始まりです)。

学校・家庭・地域



連携

みんなの
・目で
・声かけで
・力で



安心感

これからの
世の中を
生きぬく
豊田っ子

豊田中学校区

いじめゼロスローガン

優しい気持ちと
勇気をもって
いじめをしない
起こさせない

豊かな人間関係をつくります

様々な人と関わることは、社会性を育てる上で有効です。自分と違う考え方や価値観を学ぶ絶好の場をつくります。

- ・縦割り班活動、なかよし給食などで、異学年間の交流を行います。
- ・清掃や登校班では、高学年がリーダーシップをとって行います。
- ・豊田南小学校以外の子との交流の場をつくります。(各種大会・行事への参加)
- ・小中一貫教育により、中1ギャップの解消を目指したスムーズな中学校への接続を目指します。
- ・親子ふれあい活動など、各種行事により様々な人とのふれあいの機会をつくります。

家庭で

- ・地区の行事に積極的に参加させてください。
- ・休みの日でも、子どもの行動について把握してください。

日々の指導・生活のさらなる充実

- ・正しい言葉遣いを、意識づけるように指導します。
- ・特別支援教育を含む、できた実感を伴う授業に心がけ、子どもたちからコンプレックスが生まれないようにします。
- ・道徳科の時間を中心に、思いやりや生命・人権を大切にする指導の充実に努めます。
- ・Q Uの結果を分析し、望ましい人間関係構築を目指します。
- ・日頃の様子や教育相談から職員間の情報交換を密に行い、全職員で気になる子への早めの対応を行います。
- ・新聞、ニュース等での最新の報道から考えられることの話合いを行い、意識を高めます。
- ・朝の読書活動や読み聞かせなどで、心を豊かにします。
- ・「おやまっ子いじめゼロ宣言」を具体的な場面で考えさせ、行動できるように支援します。

家庭で

- ・日ごろの子どもの言葉や様子に注意し、変化に気づいたら、遠慮なく学校にお知らせください。

学校・家庭・地域社会との連携

みんなで子どもを育てていきましょう。

- ・安全安心メールによりすみやかに情報を発信し、連絡を密にします。
- ・学校だよりや、学年だよりなどで、学校の様子をお知らせします。
- ・学校でいつもと変わった様子が見られたら、子どもに聞くとともに、保護者へ連絡します。
- ・公民館と連携し行事の案内を紹介するとともに、実施の際の子どもの様子についても情報交換を行います。
- ・自治会、育成会の行事など、保護者と一緒にできる活動に数多くご参加ください。
- ・周囲の大人が声をかけて注意したり、学校に連絡したりして、いじめを防止するための積極的な行動をお願いいたします。